

平成 15 年度「特色ある大学教育支援プログラム」
採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	創価大学	整理番号	1-4-015
応募テーマ	主として学生の学習及び課外活動への支援の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	「学生中心の大学」のための教育・学習支援 —「教育・学習活動支援センターの取組」—		
申請単位	大学全体		
申請担当者	馬場 善久		

(取組の概要)

創価大学は、「人間教育の最高学府たれ」との建学の理念を具体化し、「学生中心の大学」のための教育・学習支援を教育目標に定めた。学生の多様化が進む中で、教育制度改革に取組むとともに、学生の学習意欲の向上と教員の教授法改善、あるいは教育活動支援との有機的な連携を目的として、2000 年に「教育・学習活動支援センター」(Center for Excellence in Teaching and Learning : 略称 CETL) を開設した。

本センターの学習活動支援は、基礎学力向上のための各種講習会の開催と個別学習相談などであり、教育活動支援は、各種 FD 講演会、教授法などのワークショップ開催と授業見学会・教育サロンの開催などである。これらの活動を通じて学内諸機関と連携を取り、総合的な学習支援体制の構築を進めている。取組の成果として、学生の学習意欲の向上、授業の改善、カリキュラムの改革が挙げられる。また授業アンケートなどのデータを用いることで、本取組の成果の検証に努めている。

(採択理由)

この取組は、創価大学の教育目標である「学生の学習意欲の更なる向上と教員の教育力向上との有機的な連携」を実現するため、2000 年より実施されているものです。とくに、「教育・学習活動支援センター」を中心に、学生のニーズを把握・分析し、それを速やかに教育制度改革や教授法の改善に結び付けていく全学的組織の体系と地道な努力は高く評価できます。FD、授業公開、授業評価など、教員の教育力を高める努力も優れたものです。学習支援の実績も量的に把握され、公開され、実践力を備えた仕組みと評価できます。全体として優れた特色があり、他大学に対し十分参考になる事例と認められました。